

神経内科での実習を終えて

鈴木雄祐

あっという間に 4 週間がたっとうてしまいとても寂しい気持ちです。神経内科での実習は毎日が充実しており日々成長を感じることが出来ました。毎日熱心に、親切に指導して下さった先生方、そして切磋琢磨しあった同じグループの学生に恵まれていました。本当に感謝しています。素晴らしい環境で実習することが出来ました。

神経内科は難しく自分には無縁の世界だと思っておりました。しかし、プライマリーで実習させて頂いたときに、神経内科がとても面白く、もっと神経内科について知りたいと思いアドバンスコースで選択させて頂きました。問診・神経診察などから病変部位や疾患を推測し、更に必要な検査を考え、その検査結果と自分の推測とを照らし合わせる過程が非常に面白く感じました。私は神経内科の知識が全くもって不十分であったため、実習中にそういった一連の過程を全て行うことは到底出来ませんでした。しかし、先生方がどういう点に着目してどのような診察・検査・治療を行っているのかを問近で見ることが出来て大変勉強になりました。その中で特に感じたことは問診と神経診察の重要さです。神経診察は簡単そうに見えて非常に奥が深く、重要な情報をたくさん得ることが出来るものだと分かりました。問診と神経診察が上手であればあるほど、その時点で考える疾患をかなり絞ることが出来ると思えました。また、実習中に様々な患者さんを診させて頂き、それぞれの疾患に特徴的な症状を見ることができ、疾患についての具体的なイメージや理解を深めることが出来ました。様々な検査についても、神経内科の検査は難しく理解しにくい印象が強かったですが、講義や実際に検査を見学させて頂いた事でかなり理解できるようになりました。

毎日の回診やグループカンファ、自分で行った問診・神経診察・検査、外来見学、総回診・症例検討会、安田先生との国試対策や医療面接練習、実習最後の症例検討会の準備と発表、日赤病院での実習、人生初めての学会など、たくさんを経験することができました。神経内科で経験させていただいた全てのことが私にとって貴重な経験でした。このような機会を与えて下さった神経内科の先生方に本当に感謝しております。ありがとうございました。神経内科で実習をさせて頂けて本当に良かったです。1 ヶ月お忙しい中、大変お世話になりました。

福地恒一郎

初めてのアドバンス BSL ということでなかなか緊張したけれど、先生方が親切にいろいろなことを教えて下さったのでとても勉強になりました。初めは神経内科の分野が少し苦手で、正直不安しかない 4 週間でしたが、少しずつではありますが疾患や神経診察について理解が深まったと思います。また、検査もたくさん見学させていただいたので、去年までは「名前は知ってるけど、、、」という程度だった検査についても理解が深まりました。

今クール中には日本神経学会があり、学会に参加できたのもいい経験になりました。学会というものに人生で初めて行ったので少々雰囲気圧倒されましたが、医大の先生を含むたくさんの先生方の発表を聞いて興味が湧きました。市中病院にも実習で行く機会をいただき、その外来でいろいろな症例を経験させていただいたこともとても勉強になりました。

全体的に、1週間でまわる5年生の時とは違い、4週間もいることができたので、じっくりと神経領域の勉強に取り組むことができました。去年大変な思いをしてやった神経診察も、今なら一通りできる気がします。充実した4週間で過ごすことができました。どうもありがとうございました。

福地雄太

1か月という短い間でしたが、神経内科の先生方には、熱心に指導していただきありがとうございました。私は、神経内科には、今まで苦手イメージがありましたが、興味がありましてアドバンスコースを選択しました。神経内科では、神経疾患の鑑別や神経疾患を抱える患者さんの神経所見をとれるようにというのを目標にしていました。大学病院の実習では、服部先生グループにつき、回診やグループカンファに参加し患者さんの病態を学んだり、所見の取り方を学習しました。また、担当患者さんの神経診察を行い、症例発表を行いました。熱心なご指導のおかげで簡単な神経所見は、ある程度とれるまでにはなりました。札幌での神経学会では、様々な神経病の研究発表を聞き、神経内科の奥深さを感じることができて、貴重な学びでした。外病院実習では、急性期病棟のほか慢性期病棟も見学し、神経疾患と診断された方の社会復帰までの道筋を勉強できました。外来見学では、様々な症例に触れることができ、神経疾患の鑑別について理解が深まりました。総じて、1か月の学びは臨床実習の中で一番深かったと思います。より神経内科への興味が湧きました。この経験を研修医になってからも生かして行ければと思います。大変お世話になりました。

山田龍輝

神経内科で過ごさせていただいた1か月は大変有意義なものでした。

初週のあいさつでも言った通り、僕はもともと神経内科はあまり得意ではありませんでした。目に見えない伝導路、症状の独特さやその組み合わせの数々、他の科に比して一発ではピンとこない検査やその所見などがただ暗記するだけだったのでそれぞれを紐づけできていなかったのです。しかし、5年生のプライマリBSLで実習させていただいたときに、神経内科は考える科だと教えていただいて考えを改め、もっと神経内科の考え方について学びたいと思い、今回のアドバンスBSLを希望させていただいたのです。

そして今回の実習ではその期待を超える知識や考え方を得ることが出来ました。それだけにとどまらず、学会に連れて行っていただいたり、外病院の様子も見ることができ、知見を広めることが出来たのは将来を考えるうえでも大変参考になったと感じています。また、

1か月実習を続けることによって、経過の長い神経内科の患者さんを見続けることが出来たのも5年生の1週間ではできなかった良い体験です。なにより科の雰囲気が高く、質問がしやすく、何をするにも安心感をもってできたというのも大きく、概ねの神経診察に関しては自信をもってできるようになったのも大変な収穫でした。今後はこの実習で得たものをフルに活用して国試や研修に役立てたいと思っています。1か月間ありがとうございました！

【宇川先生とともに】

